

第11回 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会

JOSKAS

場所：札幌コンベンションセンター
発表者：西村勇輝

深部静脈血栓症とは？

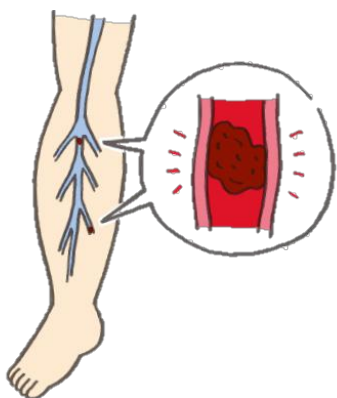
深部静脈血栓症は手術後や受傷後に長期臥床が続くと、下肢の静脈の循環が悪くなり、静脈の中に血栓という血の塊ができます。

血栓は血流によって肺に移動し肺の血管をつまらせる肺塞栓症を起こす危険性があります。

肺塞栓症を引き起こすと、胸の痛みや呼吸困難といった症状が出現し、場合によっては死に至る恐ろしい病態です。

血栓は特にふくらはぎの静脈に好発し、症状がないことも多いです。

当院では下肢の手術後に深部静脈血栓症が発症しないよう予防に努めています。



発表演題

前十字靭帯再建術における 深部静脈血栓症予防対策の効果



印象記

当院では深部静脈血栓症の予防対策を行なっております。

今回はその予防対策の効果を検証しました。検証の結果、深部静脈血栓症の予防に有効であることが明らかとなりました。

発表の後も多数の医師からの質問を頂き、大変有意義なディスカッションをすることができました。

今後も、血栓予防のため続けていきたいと思っております。